

予算審査特別委員会総務文教分科会

1 開会日時 令和2年9月11日（金）午後1時0分

2 閉会日時 令和2年9月11日（金）午後1時20分

3 会議場所 議会委員会室

4 出席委員

1 番 永徳 省二君 3 番 佐藤 武君 7 番 大口 浩志君

1 2 番 北川 勝義君 1 6 番 下山 哲司君 1 7 番 実盛 祥五君

5 欠席委員

な し

6 説明のために出席した者

市 長 友實 武則君 副 市 長 前田 正之君

副 市 長 川島 明昌君 教 育 長 土井原康文君

総合政策部長 安田 良一君 総 務 部 長 塩見 誠君

財 務 部 長 藤原 義昭君 教 育 次 長 有馬 唯常君

吉井支所長兼
市民生活課長 遠藤 健一君 消 防 長 井元 官史君

秘書広報課長 小引 千賀君 政策推進課長 花谷 晋一君

総 務 課 長 小坂 憲広君 暮らし安全課長 岡本 和典君

財 政 課 長 和田美紀子君 管 財 課 長 戸川 邦彦君

税 務 課 長 光田 尚人君 教育総務課長 金島 正樹君

学校教育課長 家森 康彰君 社会教育課長兼
スポーツ振興課長 西崎 雅彦君

消防総務課長 檜原 秀幸君

7 事務局職員出席者

議会事務局長 元宗 昭二君 主 事 松尾 康平君

8 審査又は調査事件について

1) 議第46号 令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）の総務文教常
任委員会所管部分

9 議事内容 別紙のとおり

午後1時0分 開会

○分科会委員長（佐藤 武君） それでは、ただいまから予算審査特別委員会総務文教分科会を開会します。

これから分科会の審査に入ります。

当分科会の審査対象は、議第46号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）のうち、総務文教常任委員会所管部分であります。

執行部からの補足説明がありましたらお願いします。

なお、説明は補正予算書及び説明資料のページ番号を言ってから行うようにお願いします。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） 議第46号令和2年度一般会計補正予算（第5号）について補足説明いたします。

総合政策部の分科会資料1ページを御覧ください。歳入につきましては、補正予算書10ページから13ページ、説明資料は8ページから9ページとなります。総合政策部分科会資料1ページを御覧いただければと思います。

16款国庫支出金の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金につきましては、本会議場での提案説明及び質疑で御説明したとおりでございます。

次に、19款1項寄附金、1目一般寄附金のふるさと応援寄附金につきましては5,000万円を計上し、当初予算1億円と合わせまして総額1億5,000万円としております。8月末現在の受入れ実績は8,000万円となっております。

続きまして、歳出につきましては、予算書16ページから17ページ、説明資料は12ページから13ページとなります。引き続き、総合政策部資料1ページと併せて御覧ください。

2款総務費、1項総務管理費、6目企画費に2,568万9,000円の増額を計上しております。これはふるさと納税推進事業としまして、先ほど御説明申し上げましたふるさと応援寄附金の増額見込みに伴いまして返礼品経費等の増額2,491万9,000円と、結婚支援事業としまして新婚世帯家賃補助金の実績見込みで77万円の増額を計上させていただいております。

以上で政策推進課の補足説明とします。

以上で総合政策部の説明を終わります。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） それでは予算審査特別委員会総務文教分科会の資料1ページを御覧ください。予算書は22ページから25ページ、予算説明資料は16、17ページを御覧ください。

9款消防費、1項消防費、5目災害対策費としまして、需用費、事業用消耗品597万6,000円

を計上させていただいております。これは避難所用の段ボールベッドであるとか間仕切りであるとか、いわゆるコロナ感染症対策に係る消耗品等でございます。

次に、使用料及び賃借料、システム機器借上料につきましては、コロナ対策本部会議等をはじめとしました会議の会議録作成に係るソフトのシステムの使用料101万2,000円でございます。

次に、備品購入費、事業用備品といたしまして1,176万8,000円、これは先ほどと同じく避難所用の備品としまして、マンホールトイレ、これは水が使えない場合等に使用するものでございますが、マンホールトイレでありますとか体温検知のシステム、あるいは冷暖房のない施設に避難していただくということもございますので、スポットクーラー等の購入費を計上させていただいております。

総務部からは以上です。

○教育次長（有馬唯常君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 有馬次長。

○教育次長（有馬唯常君） 議第46号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）におきまして、教育委員会所管の部分につきましては、本会議のほうで御説明申し上げておりますので補足説明はございません。

なお、本日お配りしております教育委員会資料のほうで、内容についてまとめたものを用意しておりますので、お目通しいただけたらと思います。

以上です。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 檜原課長。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 議第46号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）について補足説明をさせていただきます。

予算書ページ22、23を御覧ください。説明資料にあつてはページ16、17を御覧ください。

コミュニティ助成事業の説明と陰圧式感染者搬送用器具、それからオゾン水発生器の細部の説明をさせていただきます。

コミュニティ助成事業助成金につきましては、一般財団法人自治総合センターが宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業に赤磐市少年女性防火委員会への活動支援として、防火訓練用の備品の整備に関する助成が採択されましたので、お願いすることでございます。

事業内容は幼年消防クラブ員用の煙体験ハウス1式を購入するものでございます。裏面の一番上段のところに資料として写真を添付させていただいております。

次に、先ほどと同じ助成金を使用しまして、消防団用テントの整備もお願いするものでございます。

次に、陰圧式感染者搬送用器具、商品名としましてはアイソレーターと申します。新型コロナウイルス患者の移送につきましては、基本的に保健所が対応することとされていますが、緊急性が高い場合は、保健所からの要請を受けて消防で対応することとなっています。搬送に際しては、罹患の危険が伴いますので、参考資料中の中ほどの搬送器具が必要となります。

この搬送器具は組立て式の患者搬送カプセルで、救急車のストレッチャーに装着して使用いたします。カプセル内は常に陰圧に保たれ、患者からの飛沫の拡散を防止するとともに、カプセル内の空気はフィルターを通して排気されるため、同乗者及び救急隊の安全が保たれます。コロナウイルスが感染拡大してからの整備では間に合わないため、緊急にお願いするものでございます。

次に、オゾン水発生器でございます。

新型コロナウイルスやインフルエンザウイルス、各種感染症の患者を搬送した折に、使用資器材や救急車両内外の除菌洗浄ができる機械でございます。このオゾン水発生装置は、電気分解により生成した高濃度のオゾンガスを水道から直接導入して水に溶解させますので、大量の除菌水が生成可能です。この除菌水で機器等を洗い流すことにより、清拭よりも高い除菌能力と洗浄効果が期待できます。また、このオゾン水は外気に触れると30分で無毒化されるため、万が一救急車を洗浄したオゾン水が用水路に流れ込んでも危険性はありません。こういった機械を導入させていただきたいと思っております。

補足説明として、以上でございます。

○分科会委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

執行部の説明が終わりました。

それでは、これから質疑を受けたいと思っております。質疑をお願いします。

○分科会副委員長（大口浩志君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○分科会副委員長（大口浩志君） 債務負担行為のところでお尋ねをするんですが、来年度からスクールバスの運行5年間のことのようなんですけど、もうよく御存じのとおり、子供の数とかが大分5年間という大きく変化もあるのかなと思っておりますので、契約の際には柔軟な契約をしておいていただけたらと思っております。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 金島課長。

○教育総務課長（金島正樹君） スクールバスの債務負担行為の御質問かと思っております。

こちらのほう、まず今年度中に一応この予算可決後に入札等を行います。そのときに、ある程度の仕様書にそういったことを意見として盛り込ませていただくよう検討してまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかにありますか。

○分科会副委員長（大口浩志君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○分科会副委員長（大口浩志君） 歳入の欄で、ありがたいほうのプラスなんですけど、ふるさと納税が増えとるようなんですが、具体的な理由というか原因というか、もし把握しとられるようでしたらお願いします。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） ふるさと納税の増額となった要因として考えておりますのは、インターネット上にふるさと納税のサイトが幾つかございます。そういったものの間口を昨年度から幾つか広げてまいった、それがこの増額につながったというふうに分析しております。もろもろほかにも要因ございますが、大きなものとしてはそれが一番かと思えます。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかにありますか。

○委員（北川勝義君） よろしいか。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 財務部の特交800万円増額、交付決定に伴い増額するというんじゃけど、それと地方交付税が1億1,900万円、約1億2,000万円じゃけど、何が原因でこうなるとかな。ちょっと教えてくれりゃええんじゃけど。これが入ってくるから、いわゆる財調を減額したということですか。それ1点、取りあえず教えてください。

○財政課長（和田美紀子君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 和田課長。

○財政課長（和田美紀子君） 地方特例交付金及び地方交付税に関しましては、国があらゆる計算式の下で計算をされます。予算を立てる段階で、当然国の来年度の動きというのを予測して、財政課の職員がいろいろ細かい計算をしてみるんですけれども、県の指示等もありまして、過大に見積もることをしないようにという指導もありますので、適正な金額、あまり多めに見ないよという気をつけて積んでいったということになります。結果としまして、いろいろな積算をした中で、見込みよりたくさん入ってきたということで、特に何か大きな原因があるということではないかと思っております。

このように増額ができますので、その分当然今回の補正予算上では財調の取崩しの増減には影響が出ております。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） ありがとうございました。

それから、予備費の3,000万円、これはコロナ対応等に必要となった部分を増額するという、エアコンの緊急故障対応、コロナ等と書いてありますけど、これはこれから使うためか、

これはもう使うの決定しとる予備費かな。

○財政課長（和田美紀子君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 和田課長。

○財政課長（和田美紀子君） 現在既に中学校のエアコンが壊れたりしまして緊急対応をさせていただいたもの、それからコロナの、見ていただいたら分かると思うんですが、庁舎の職員の、例えばフィルターというんですか、ああいうのをしたりとか、緊急で対応させていただいたものが既に3,000万円程度上りましたので、今後の対応に不足が生じてはならないということで、もともと5,000万円の予算に戻させていただくというような計算をして3,000万円を計上させていただきました。

○分科会委員長（佐藤 武君） よろしいですか。

○委員（北川勝義君） もう1個。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） ついでに管財課のところの吉井会館の空調設備なんですけど、やっていただかにはやおえんなんですけど、実は本当の話が、周りに結構どこか、できたタイミング、年度で言うたら55年とか59年ってめげるようなタイミングにようけなっとなって、JAのほうもめげたりして、JAの吉井はゴールデンウィークに何とか間に合わせようにしたんです。間に合わせなんだからおえんという。失礼、6月に間に合わせようということで間に合わせたんです。これも、空調も結果的に言やあ、今年は直すけど使えんなあということがあって、もっと前からの、どういうて言うてええんか、点検をしてもらって、お金が要ることじゃけど、できりゃあだましましでも使うていきえと思ふんじゃけど、今年これをやってしもうたら、結果的にはこのもうちょっと1か月ぐらいは使えんようになるんじゃねえかなと思ふて。使えんなら困るんじゃねえかなと。その間のことはどうするんかなあと思ひまして。それでいつ頃完了するかと、その間の対応をどうするかというのが分かれば教えてください。

○吉井支所長兼市民生活課長（遠藤健一君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 遠藤支所長。

○吉井支所長兼市民生活課長（遠藤健一君） 委員もよく御存じのとおり、吉井会館のエアコンについてはもう長年不調で、大型ボイラーが3基あるんですけど、実際にはその2基というのは修理不能の状態がもう長年続いていながら、何とか小手先の修理を毎年予備費などをいただいて続けておった中で、今年度ようよう動きようりました1基も不調の事態に陥ったりしましたときに、ちょうどこのコロナ禍ということもあって、避難所もこの間質疑でも申し上げましたように、おととの豪雨でも相当の人数の方が非難されたということもありまして、早急に対応せにやいかんということで検討をさせていただいたんです。

実際には、そのだましましの1台も何とかまだ動いておりますので、あまり効きは御存じのとおりよくないんですけど、何とかそれをだましまし使いながら、早めに発注などをして

いきたいと思うとります。

○分科会委員長（佐藤 武君） いいですか。

○委員（北川勝義君） よろしい。

○分科会委員長（佐藤 武君） ちょっと。

〔委員長交代〕

○分科会副委員長（大口浩志君） 佐藤委員。

○分科会委員長（佐藤 武君） それじゃ、2点ほど。

今吉井会館の空調の工事があったんですが、契約はどういう形になるんでしょうか。

それから、最後に煙体験ハウスというのが出ているんですけど、これはどういうところで体験をするという予定があるんでしょうか。

2点お答えください。

○分科会副委員長（大口浩志君） 答弁を求めます。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 副委員長。

○分科会副委員長（大口浩志君） 檜原課長。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 活用につきましては、赤磐市少年女性防火クラブの事業を中心に、防火講習会、それから署見学等における防火啓発活動に有効に活用したいと考えております。

以上でございます。

○吉井支所長兼市民生活課長（遠藤健一君） 副委員長。

○分科会副委員長（大口浩志君） 遠藤支所長。

○吉井支所長兼市民生活課長（遠藤健一君） 吉井会館の空調設備工事につきましては、議決をいただきました後に速やかに、まず実施設計のほうの発注をさせていただきますして、しかる後に工事の発注になります。

ただ、コロナ禍でいろんな自治体がこの空調の関係の事業をされるということもございまして、大型の機械でございます。お時間をいただくようにはなるかもしれませんが、なるべく急いでやりたいと思っております。

以上です。

○分科会副委員長（大口浩志君） よろしいですか。

○分科会委員長（佐藤 武君） はい。

〔委員長交代〕

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかにありますか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかに質疑がないようですので、これで質疑を終わります。

以上で当分科会の審査は全て終了しました。

なお、委員長報告については、委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐藤 武君） それでは、そのようにさせていただきます。

皆さん方には、本日は長時間にわたり大変お疲れさまでした。

これで予算審査特別委員会総務文教分科会を閉会といたします。

午後 1 時 20 分 閉会